学びの道しるべ

小松市立丸内中学校

この「学びの道しるべ」は、令和８年４月の本校３年生を対象に実施された調査結果に基づいたものです。

１．全国学力・学習状況調査結果（本校と石川県・全国との正答率の比較）

	石川県	全国
国語	平均並み	上回る
数学	平均並み	大きく上回る

２．設問ごとの良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

国語
◎単語の活用について理解している。【選択式】 ◎目的や場面に応じて、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。【選択式】 △文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題がみられる。【記述式】 △文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことに課題がみられる。【短答式】 △語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えることに課題がみられる。【選択式】
数学
◎具体的な場面において、正の数と負の数を用いて変化や状況を表したり、文字式の処理をしたりすることができる。【短答式】 ◎問題場面における考察の対象を明確に捉え、事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てることができる。【短答式】 △数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に表現することに課題がみられる。【記述式】 △具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだすことに課題がみられる。【短答式】

３．質問調査の結果から良好なもの（◎）と課題となるもの（△）

◎将来の夢や目標をもっている生徒の割合が高い。
◎困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人に相談できる生徒の割合が高い。
◎新聞を読んでいる生徒の割合が高い。
◎普段（月曜日から金曜日）、１日当たりのスマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等でSNSや動画視聴（スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く）にかける時間が少ない生徒が多い。
◎自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している生徒の割合が多い。
△自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う生徒の割合がやや低い。
△土日の学習時間（学習塾・家庭教師の先生に教わっている時間などを含む）において、３時間以上取り組んでいる生徒の割合が低い。
△授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる生徒の割合がやや低い。
△友人関係に満足している生徒の割合がやや低い。

４．全国学力・学習状況調査，質問調査の結果を踏まえた取組について

学校での取組

（全国学力・学習状況調査の結果を踏まえて）

・授業の初めに復習問題や基礎的・基本的な知識を確認する小テストなどに継続的に取り組み、定着を図っています。
・授業の終わりには、今日の課題について自分の言葉でまとめることや、根拠を明確にして意見を書くことを大切にしています。
・協働的な学習の場面において、学習用端末を効果的に活用した授業実践に努めています。



（質問調査の結果を踏まえて）

・仲間づくりの活動（森まるトーク・エンカウンター等）の継続的な取組を通して、適切なコミュニケーションスキルを育むとともに、生徒同士が安心して関わり合える機会や環境づくりを推進しています。
・「自ら地域や社会のために行動したい」という主体的な意欲へつなげるために、総合的な学習の時間や道徳の時間、日々の活動において、地域や社会課題へさらに関心を深めさせる仕掛けづくりをしています。

ご家庭にお願いしたいこと

・起床・就寝時刻や家庭学習の開始時間、食事等、規則正しい生活習慣になるように声かけをお願いします。
・スマホやゲームなどのメディア利用は、節度ある使用になるように、ご家庭でルールを決めてください。
・今年度、丸内中学校では「なりたい自分づくり」をテーマに教育活動を行っています。ご家庭でも、お子様の「興味、関心のあること」や「頑張りたいこと」について話し合われる機会を設けてください。

なりたい自分づくり
- 自ら進んで考え動く！
- 自分と周りを大切にしてつながる！
- 新たなことに挑戦する！

